

拡大クレジットファシリティ（ECF）

拡大クレジットファシリティ（ECF）は、国際収支上の問題が長期化している低所得国（LICs）に中期の金融支援を提供します。ECF は貧困削減・成長トラスト（PRGT）の下に設けた制度のひとつです。

[PDF をダウンロード](#)

目的

PRGT を利用する資格を持ち、国際収支上の問題が長期化している国に対し、強力で持続的な貧困削減・成長と一致する、安定した持続可能なマクロ経済ポジションに向け、大幅な進展を促すプログラムを実施するための支援を提供します。

国外からの援助を促進します。

適格国

PRGT を利用する資格を持ち国際収支上の問題が長期化している（内在するマクロ経済の不均衡を解消するために、中・長期的な取り組みが必要と予想される状況）すべての国が対象です。

コンディショナリティ

経済プログラムは、強力で持続的な貧困削減・成長と一致する、安定した持続可能なマクロ経済ポジションに向けた成長を目指す政策を含んでいる必要があります。同プログラムは、その国独自の開発戦略と一致し、貧困削減・成長の目標に向けて前進することを目指す内容です。

[コンディショナリティ](#)は、プログラムの目標を達成するうえで重要な政策措置に重点を置いていて、通常は事前措置、定量的条件（パフォーマンス基準と指標ターゲット）、構造的ベンチマークで構成されています。詳しくは[コンディショナリティ](#)をご覧ください。

2 回目以降の審査を完了するには、[IMF 理事会](#)に対し貧困削減・成長戦略（PRGS）を提出することになります。PRGS では、成長と貧困削減

	<p>減を支援するマクロ経済政策・構造政策・社会政策と、関連する対外資金調達ニーズ、および主要な財源を明確にします。脆弱性などが原因で制度面での能力が限られていることから2回目の ECF 審査までに PRGS の要件を満たすことができない場合には、期間延長を要請することができます。</p>	
<p>審査手順</p>	<p>IMF 理事会は、プログラムの進捗（特に定量的条件と構造的ベンチマーク）について、通常6か月ごとに審査します。</p>	
<p>条件</p>	<p>期間</p>	<p>3～5年、最長5年</p>
	<p>返済期間</p>	<p>猶予期間5年半、満期10年</p>
	<p>金利</p>	<p>現在はゼロ</p>
	<p>利用枠</p>	<p>PRGT の利用限度は年間でクォータの145%、譲許的融資は返済予定の金額を差し引いた累計利用限度が クォータの435%です。例外的状況においては、厳格な年間・累計利用限度を設けることなく、上限を引き上げることができます。ただし、PRGT の例外的利用基準を満たしていることが条件となります。</p> <p>ECF 取極の満了・キャンセル・終了後に、追加 ECF 取極を承認することもあります。</p>

その他の融資制度

IMF の融資について、その他の融資制度については、ファクトシートをご覧ください。

[拡大クレジットファシリティ \(ECF\)](#)

[拡大信用供与措置 \(EFF\)](#)

フレキシブル・クレジットライン (FCL)

予防的流動性枠 (PLL)

ラピッド・クレジット・ファシリティ (RCF)

ラピッド・ファイナンス・インストルメント (RFI)

強靭性・持続可能性ファシリティ (RSF)

短期流動性枠 (SLL)

スタンバイ取極 (SBA)

スタンバイ・クレジット・ファシリティ (SCF)